

5月の欧州モデルランキングはステランティスが上位を占め、ヒュンダイキアが最もマーケットシェアを伸ばした

2022年7月4日

- 2021年5月と比較すると、年初来累計販売台数は13%減少
- フォルクスワーゲングループが引き続き販売首位だが、ヒュンダイキアが最もシェアを伸ばした
- モデルランキングではステランティスが上位3位を確保

2022年5月、欧州の新車販売台数は前年同月比13%減の93万5,854台となり、年初来累計では448万2,463台となった。これは、多くの欧州経済が史上最悪の感染拡大に見舞われた2020年を除けば、1985年以来、5月として最も悪い結果である。

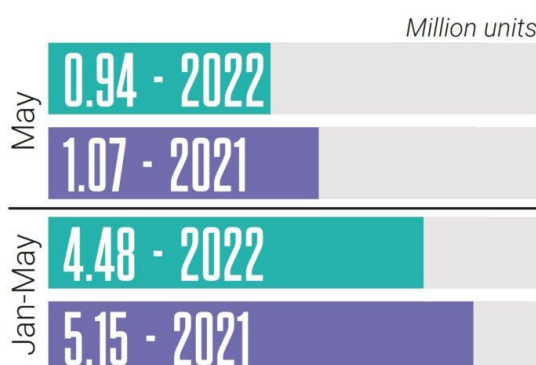
New Car Registrations Europe-27

-13%

vs May 2021

-13%

vs Jan-May 2021

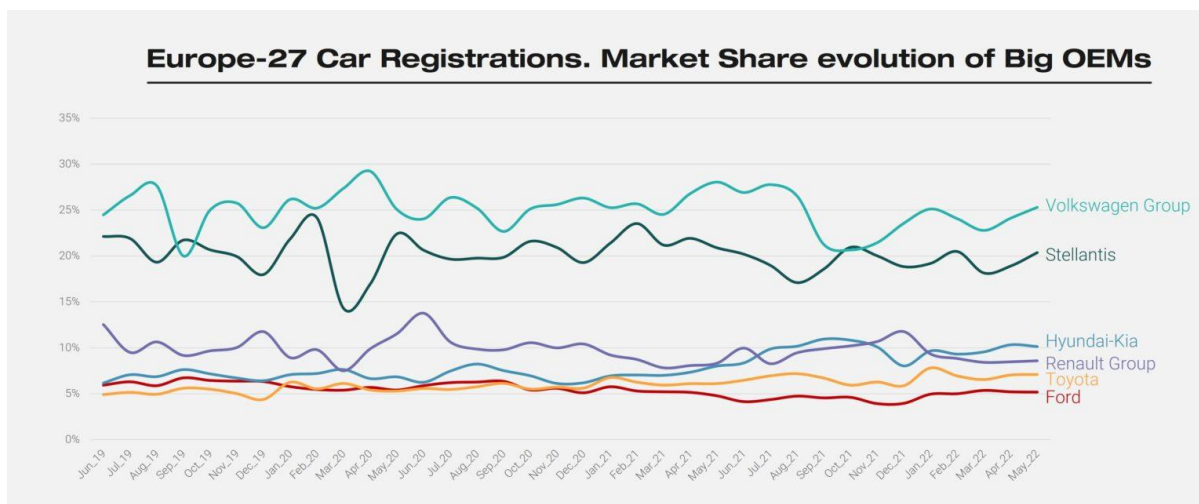


欧州 27 カ国のうち、5 月に成長を遂げたのはルーマニア、ラトビア、リトアニア、スロバキア、アイルランドのみで、欧州主要 5 カ国（ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、英国）を含む 15 カ国が 2 桁の減少を記録している。

ヒュンダイキアが上昇を続ける

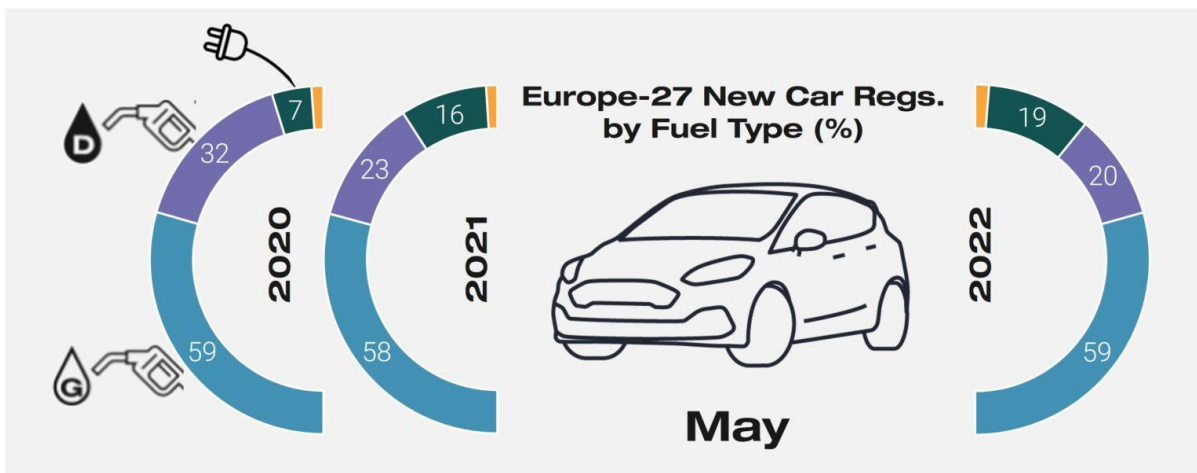
フォルクスワーゲングループは、自社ブランドのほとんどが好調であるため販売を伸ばしているが、2021 年 5 月と比較すると、欧州主要メーカーのパワーバランスに変化があった。フォルクスワーゲングループとステランティスの両社は、ルノーと日産を別会社として見た場合に欧州第 3 位であるヒュンダイキアに、マーケットシェアを奪われたのだ。

当月、ヒュンダイキアは市場全体の 10.1%を占め、2021 年 5 月よりも 10%多い 9 万 4,800 台近くを販売した。JATO Dynamics のグローバルアナリストである Felipe Munoz は「他の自動車メーカーが、加速するインフレ、ウクライナの地政学的状況、継続する半導体不足による複合的な影響を吸収するのに苦労している中で、ヒュンダイキアがこれほど素晴らしい結果を確保したのは驚くべきことだ」と述べている。ヒュンダイキアが欧州で月次マーケットシェア 10%以上を記録するのは、今回で 6 回目である。



EVはわずか4%増

電気自動車は、欧州の自動車メーカーにとって成長の原動力となっているが、このセグメントも現在の危機の影響を受けている。当月の電気自動車（BEV、PHEV、FCEV）の販売台数は17万9,700台で、前年同月の17万3,400台から3.6%増となった。マーケットシェアは16.2%から19.2%になり、2020年5月からは11.8%ポイント拡大している。Munozは「EVブームは続いているが、現在の情勢で業界が供給できるレベルはピークに達しているようだ」とも述べている。ピュアEV（BEV）が全体の56%を占め、19%増加しているが、プラグイン・ハイブリッド車（PHEV）の販売台数が12%減少したことで相殺された。



BEV市場は、フォルクスワーゲングループ（24.4%）、ステランティス（20.5%）、ヒュンダイキア（12.1%）が支配的であった。しかし、フォルクスワーゲングループ、フォード、ニッサン、テスラ、マツダは、当月にマーケットシェアが縮小した。一方、中国ブランドの販売台数は197%と急増している。BMWグループは106%増となり、ステランティス、ヒュンダイキア、ルノーグループ、メルセデスベンツ、吉利グループ（Geely Group）、ホンダ、トヨタは2桁増であった。

BEVランキングでは、当月もフィアット500が首位となり、販売台数は71%増加した。イタリアでは販売台数が減少（27%減）したが、シティカーの2大市場であるフランスとドイツではそれぞれ152%増、95%増となった。2位に続いたのは、同じくステランティスのモデルであるプジョー208で、イギリス（106%増）とオランダ（365%増）での需要が顕著であったことが貢献した。フォルクスワーゲングループは、フォルクスワーゲンID.4が、同社の最大市場であるドイツでの販売減に伴い、12%減となったものの、BEVランキング3位を確保している。

PHEV のシェアはステランティスが 19.2%で首位で、フォルクスワーゲングループが 16.5%、BMW が 15%と続く。ステランティスの成功は、ジープ コンパスがこのセグメントでフォード クーガ（Kuga）に次ぐ販売台数を獲得し、これまでで最高の結果を残したことが要因であった。

ステランティスが圧倒的な強さ

全ての燃料タイプを合わせた総合モデルランキングでは、ステランティスが上位 3 位を占めた。プジョー 208 は、15%増の 1 万 8,250 台以上を記録し、再び首位に立った。2 位は 16%増のオペル/ボクスホール コルサ（Opel/Vauxhall Corsa）、3 位は 1%増のフィアット/アバルト 500 であった。Munoz は「販売車両自体の不足が続いているため、入手できるかどうかランキングの構成に大きな影響を及ぼしており、より多くの車両を生産しているブランドは、それが販売実績に反映されている」と付け加えた。ステランティスの躍進とは対照的に、フォルクスワーゲンは、当月モデルランキング 4 位の T-Roc と 5 位のゴルフで販売を落としている。

フォード クーガ（Kuga）は、販売台数が 47%増加し、トップ 10 入りを果たした。新型キア スポーテージ（Kia Sportage）が躍進し（41%増）、コンパクト SUV ランキングで 11 位となった。トヨタ ヤリスクロスは 1 万 800 台を販売して B-SUV6 位となり、最近導入された新型プジョー 308（128%増）は C セグメントで 3 位を確保した。また、ニッサン キャッシュカイ（Qashqai）、クプラ フォーメンター（Cupra Formentor）、ルノー アルカナも好調だった。

Top 10 Best-Selling Europe-27 May 2022

Overall			PHEV			BEV		
		vs May 21			vs May 21			vs May 21
1	Peugeot 208	18,254 +15%	Ford Kuga	4,833	0%	Fiat 500	6,323	+71%
2	Opel/Vauxhall Corsa	18,166 +16%	Jeep Compass	3,424	+123%	Peugeot 208	4,570	+55%
3	Fiat/Abarth 500	17,790 +1%	Peugeot 3008	2,745	-31%	Volkswagen ID.4	4,096	-12%
4	Volkswagen T-Roc	16,971 -6%	BMW Series 3	2,642	-6%	Dacia Spring	3,849	new
5	Volkswagen Golf	14,937 -35%	BMW X1	2,421	+9%	Skoda Enyaq	3,687	-30%
6	Hyundai Tucson	13,833 0%	Cupra Formentor	2,321	+10%	Opel/Vauxhall Corsa	3,501	+51%
7	Fiat Panda	13,806 +16%	BMW X3	2,242	+71%	Volkswagen ID.3	3,423	-44%
8	Ford Kuga	13,762 +47%	Volvo XC60	2,218	+12%	Renault Zoe	3,358	-42%
9	Ford Puma	13,418 -6%	Lynk & Co 01	2,217	new	Hyundai Kona	3,163	-2%
10	Toyota Yaris	12,515 -28%	BMW X5	2,158	16%	Mini Hatch	3,034	+53%

お問い合わせ先

JATO Japan Limited

113-0024 東京都文京区西片 2-22-21 本郷 MKビル 2F

Web: www.jato.com/japan/

Tel: 03-6801-9551

(9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00、土日祝を除く)

Email: japan.marketing@jato.com

JATO について

JATO Dynamics は、1984 年に設立され、現在世界 51 カ国以上で活動しています。30 年以上に渡り、自動車の仕様、価格、販売登録台数に関する、世界で最もタイムリーで、正確な最新のデータを提供してきました。弊社は、単なるデータ以上のものを提供し、世界の変化と、それに伴う消費者の考え方の変化を見極め、業界が求める洞察をお伝えしています。短期的な市場の動きに対応し、長期的な成長へ向けた計画を行い、そして最終的にはお客様のニーズへもお応えすることが可能です。詳しくは弊社のウェブサイト、www.jato.com をご覧ください。